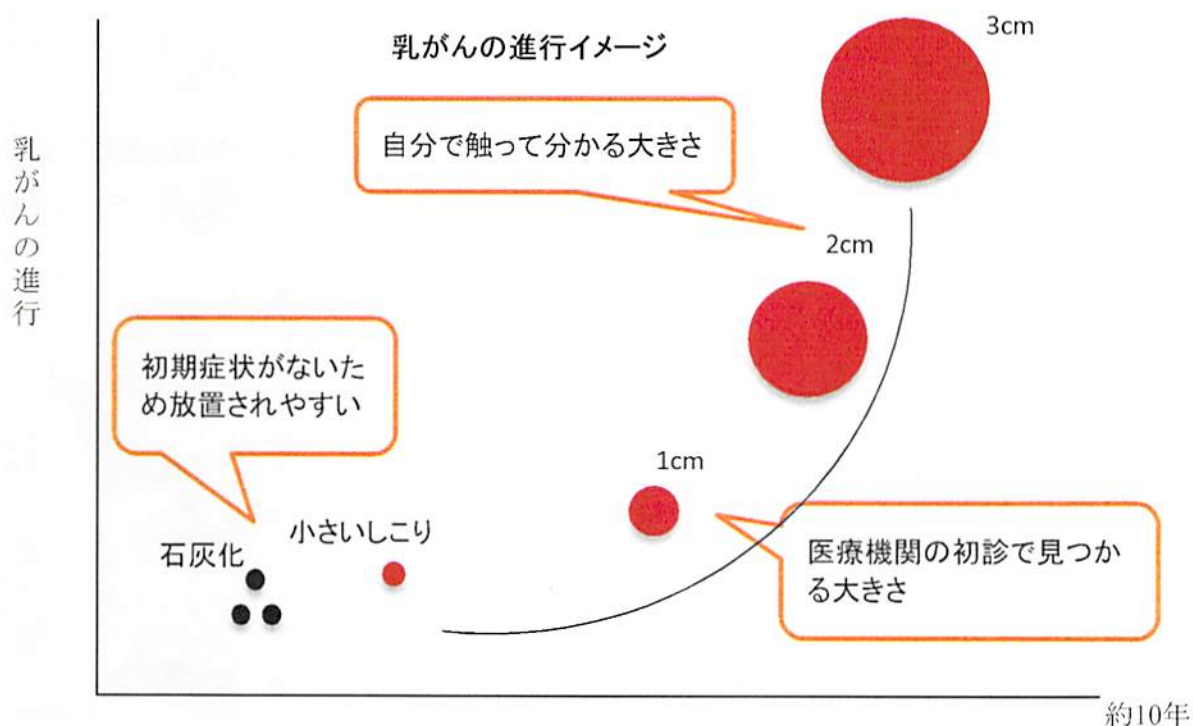


ピンクリボン通信 Vol,1

○ 乳がん検診は無症状の女性が受ける

がん検診は、症状のない方が受けるものであり、症状がある場合は保険診療の対象となります。したがって、自己検診で気になる場所があれば、保険診療で専門医の診療を受ける必要があり、自己検診で気になる場所がない方が乳がん検診を受けることになります。



乳がんは早期で発見すれば90%以上が治りますが、早期の乳がんは自覚症状がなく、触っても分からないため、画像診断でないと発見できません。触って分かるしこりは約2cmとされています。1cmのしこりは約1年で2cmの大きさになる場合があります。そのため、自覚症状がないうちの定期的な検診が重要です。

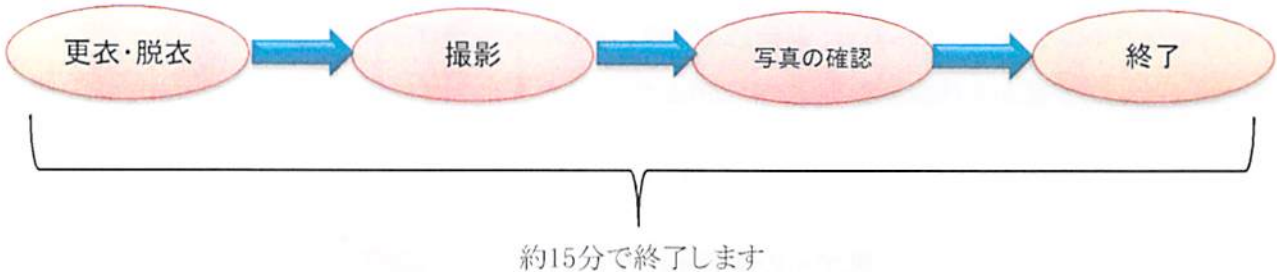
右の条件に当てはまる方は、乳がん検診の受診を特にお勧めします。

- 未婚、未産または初産が30歳以降の方
- 閉経後の肥満の方（50歳以上で標準体重の+20%以上）
- ホルモン補充療法を受けている、又は受けたことがある方
- 初潮が早く（11歳以下）、閉経が遅い（55歳以上）の方
- 乳がんの家族歴（母、姉妹）のある方

○ マンモグラフィ検査について

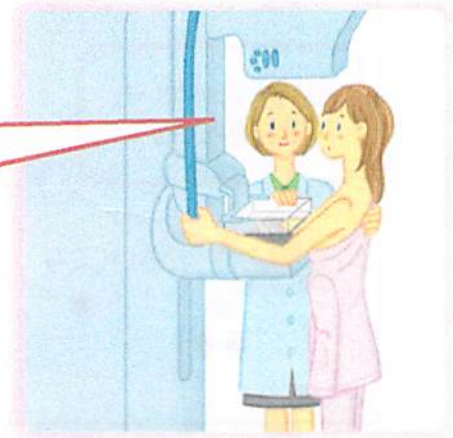
マンモグラフィとは乳房線用のレントゲン検査のことで、視診や触診だけでは分からない早期のがんを発見するのに有用です。

検査の流れ



撮影中は、診療放射線技師(当院は女性技師が担当します)が圧迫板で挟む乳房の位置を調整しながらできるだけ乳房を引き延ばして撮影するため、圧迫による痛みを感じる場合があります。これは、少ない放射線量でしこりの影や石灰化をはっきりと写すためです。

マンモグラフィでの放射線被ばく線量は東京とニューヨーク間を往復する機内で浴びる放射線量とほぼ同じ量で危険性はほとんどありません。



検査の際の注意点

- ・ 乳房にイボ、ほくろなど気になることがあれば、何でも撮影技師に事前にお伝え下さい。
- ・ 制汗パウダーなどは、よく拭き取っておきましょう。
- ・ 長い髪の方は、後で結んで下さい。
- ・ 検査当日はワンピースなどではなく、上下セパレートの服装でお越し下さい。
- ・ 妊娠の可能性がある方は、お申し出下さい。
- ・ 豊胸手術を受けたことがある方は、お申し出下さい。
- ・ 埋め込み型ペースメーカー、除細動器を装着されている方は、検査が受けられません。

参考文献： 福田護編著「ピンクリボンと乳がんまなびBOOK」, 社会保険出版社, 2014年